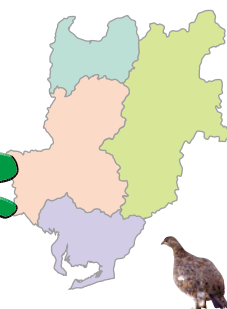




国民の森林・国有林

広報

# 中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

http://rinya.maff.go.jp/chubu/



写真上：あいさつを行う城土局長 写真下：取材に訪れた報道各社の皆さん

## 平成24年度中部森林管理局事業概要を公表

(P 2～3に関連記事)

主 な 項 目	○ 「平成24年度中部森林管理局事業概要を公表」 .....	P 2～3
	○ 各地からのたより .....	P 5～6
	○ シリーズ森林官からの便り .....	P 6～7
	○ 風景紀行 .....	P 8



囲いワナの設置 (東信署)

公益重視の管理経営の一層の推進と森林・林業の再生に向け重点事項として四つの取組を推進します。

(一) 重点取組

高山植物の保護等を図るためニホンジカの生息調査、被害状況調査、防護柵の設置、くくりワナによる捕獲の他、囲いワナの設置場所等の検討を行い、効率的で効果的な個体数調整の方法を検討し、その成果の地域関係者への普及に取り組みます。

四月二十三日、平成二十四年度中部森林管理局の事業概要について、記者発表を行い公表しました。



(四) 木材の安定供給

木質バイオマス資源として低質材や林地残材を大口の需要先に安定的に供給する取組み等を一層推進するとともに、木材の新たな需要や今後のエネルギー行政の議論に柔軟に対応できるよう取り組み



人材育成のための研修会 (森林技術センター)

(二) 民有林との共同施業の推進

国有林の活動を通じて地方公共団体をはじめ民有林関係者との連携を促進し、民有林の施業集約化の支援を行い、民有林と国有林が一体となって森林整備に必要な路網整備や共同で活用する土場の整備に取り組みます。

(三) 技術者の育成

国有林のフィールドを生かし、技術者を育成するため、県職員、市町村職員、民間の方々を対象とした研修を実施します。

二 公益重視の管理経営の一層の推進

国土保全・水源涵養・地球温暖化の防止等に果たす国有林野の役割や国民の期待等を踏まえ、森林の公益的機能の持続的発揮に取り組みます。

(一) 間伐等の森林整備の推進

山地災害の防止、水源涵養機能等の発揮に加え、地球温暖化の防止や生物多様性の確保のため間伐等の着実な実施に努めるとともに、長伐期化、針広混交林化など、多様で健全な森林づくりを推進します。



間伐により発生する端材や枝条などの低質材等を木質バイオマス発電所に供給 (北信署)

また、東日本大震災や長野県北部地震の復興・復旧に向け、様々な要請に応じた木材供給に取り組みます。

(二) 保護林等の保全管理の実施

保護林の適切な保全管理や機能評価のためのモニタリング調査を実施するとともに、高山植物の復元作業等をNPOやボランティア等と連携して実施します

三 地域関係者や民有林との一層の連携

国民の方々や民有林関係者との双方間の情報等の受発信により、透明性が高い国有林野の管理経営を進めます。

(一) 森林計画の策定における地域に根ざした幅広い情報等の反映

森林計画の策定に当たり、国有林の森林資源や整備状況、利活用等に関する情報を広く提供するとともに、地域の方々の懇談会や現地見学会の開催、ホームページ等による意見募集を実施し、地域に根ざした幅広い情報や要請を森林計画に反映させるよう取り組みます。



間伐の実施 (飛騨署)



大鹿村小波川地区「鳶ヶ巣施工地」  
(伊谷谷総合治山事業所)

**四 安全・安心な国土基盤づくり**  
国民の安全・安心の確保のため、国土保全対策として国有林の治山事業を実施するとともに、民有林においても、災害復旧事業の規模が大きい場合や特に高度な技術が必要とする場合は、県からの要請に応じて治山事業を実施します。



現地見学会 (愛知所)

**五 森林・林業再生への貢献**

森林・林業の再生に向け、間伐材等の生産コストの低減、木材の安定供給や需要開発、施業の大規模化の支援等の取組、これらを担う人材の育成を推進します。

**(一) 木材の安定供給及び利用の推進**

木材需要の動向などを的確に把握し、これに対応した林産物の供給など、戦略的な生産・販売により木材の安定供給を推進します。また、間伐等に伴い生産される一般材や低質材を安定的かつ円滑に販売するとともに国産材の新規需要開拓を図るため、透明性を重視した企画競争による安定供給システム販売の協定を締結し、計画的な販売を促進します。

**(二) 計画的な路網整備の実施と低コスト・高効率作業システムの普及・定着**

民有林と連携しながら、「森林作業道作設指針」等に基づく路網の作設技術の



林業専用道の開設 (木曾署)

普及・定着を図りつつ、その整備に積極的に取り組むとともに、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムの普及・定着を更に促進します。

**(三) 共同施業団地の設定等による森林整備の推進**

民有林と国有林で一体的な森林整備を進めるため、民有林関係者との森林整備の推進等に関する協定の締結や、これに基づき一体となつて路網の整備や間伐等の森林施業を行う「森林共同施業団地」の設定等に積極的に取り組みます。



木島平村における森林整備推進協定の締結  
(北信署)

**(四) 森林・林業技術者の育成**

国有林のフィールドや技術力を活用し、市町村の森林・林業行政を支援する准フォレスターや林業専用道技術者等の育成を図ります。

**六 山村地域の振興**

自然休養林等のレクリエーションの森について、地元協議会等との連携・協力の下、施設整備等に取り組むとともに、これらを広く国民の方々に森林とふれあう場として提供し、森林の保健・文化・教育的利用を推進します。また、森林づくり活動等へのフィールドの提供、教育関係機関、NPO等とも連携し、森林環境教育を推進します。



名古屋シティ・フォレスター事業 (東濃署)

なお、平成二十四年度中部森林管理局事業概要につきましては、HPに掲載しておりますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

URL

<http://www.rinyama.naf.go.jp/chubu/>

# 「森林の息吹にふれよう」

## 〔平成〕二十四年度森林の市の開催

### 〔指導普及課〕

五月十二・十三日の両日、東京都立日比谷公園において、平成二十四年度森林の市（主催 農林水産省・林野庁、東京都ほか）が開催されました。

全国各地から、五十七の団体が出展し、木工品や地域の特産品の販売、木工品の製作実演・体験教室、森林環境保全に関するPR等が行われました。

中部森林管理局では、公益的機能の發揮、木材の供給・利用促進、国民参加の森林づくり等への取り組みに関するパネル展示のほか、体験コーナーとして、丸太切り、小枝を使った鉛筆づくり、小丸太を輪切りにした木製ペンダントづくりに加え、ゴルフボールを落として木材と鉄・コンクリートでの弾み方を比較す



完成した木製ペンダントなどを手にする子どもたち

るセットを用意し、木材の特性（衝撃の吸収力、柔らかさ）を体感していただきました。

鉛筆づくりでは、はじめは半信半疑で好きな形の小枝を取りながらも、次第に鉛筆に変わっていく姿に関心を寄せ、やがて完成した鉛筆で早速、絵や字を書き出す小さなお子さんや、木製ペンダントでは、小枝を刻んで組み合わせ、創造力あふれる作品を作り上げる子どもさんも現れるなど、家族連れを中心に賑わいを見せました。



丸太切りに挑戦

このほか、中部局管内では、長野県岐阜県、愛知県から八団体が出店し、木製品、山菜などの特産品等の展示即売や、木登り体験等が行われていました。

また、上伊那農業高校と木曽青峰高校も参加し、学校活動の紹介や生徒が作った木工品、きのこ、炭、花等を元氣よく販売する姿が見受けられました。

天候にも恵まれ、また、二年ぶりの開催とあって、大勢の人が会場を訪れ、思いいに森林とふれあい、親しんでいた機会となった二日間でした。



当局のブースにも多くの皆さんにお越しいただきました

## 公共事業における 木質土木用材を活用した 優良工事事例コンテスト

〔販売課〕三月十二日、長野県林業センターにおいて、公共事業における木質土木用材を活用した第二回優良工事事例コンテスト（主催：長野県県産材振興対策協議会土木用材利用部会）が行われ、長野県内の各森林管理署、南木曾支署、伊那谷総合治山事業所をはじめ、長野県の出先機関等から応募のあった十六作品の中から六工事が審査により優良事例として

て選定され表彰されました。

このうち、長野県知事賞に南信森林管理署の「丸太砕水路工」が、中部森林管理局局長賞には北安曇地方事務所林務課の「大型丸太積工」が受賞しました。

本コンテストは、「森林・林業再生プラン」において木材自給率50%の目標が掲げられ、木材利用の多角化や新たな木質部材開発の推進を図る中、長野県内における公共土木工事においても、一層の県産土木用材の利用推進・拡大と優良事例の普及を図るために実施されたものです。

今後、長野県県産材振興対策協議会土木用材利用部会では、発注機関と木材関係団体との木材利用における意見交換等を行うとともに、優良工事事例の普及を図りつつ、県内の公共事業における土木用材の利用拡大を推進することとしています。



南信署の事例（瀬戸沢復旧治山工事）

## 各地からのたより

### 「戸隠森林植物園」で ボランティアが歩道を整備

【北信署】四月二十四日、長野林業土木協会東北信支部北信分会会員三十六人が、戸隠森林植物園で歩道整備のボランティア活動を行いました。

この活動は、同会の社会貢献活動の一環として毎年実施しているもので、今回で七回目となります。

参加者は、除雪された約二キロメートルのフリー歩道の支柱にグリーンロープを張った後、歩道に残る氷を割り排除し、歩道に付着した苔をデッキブラシで落とす作業も行いました。グリーンロープは、散策者の転落防止と、湿地帯への進入防止のため、春に設置し秋に撤収しているものです。

作業は、小鳥が産卵場所を探すため、毎年、戸隠中学生が設置している巣箱をのぞき込む様子を見ながら順調に進められ、通りがかった野鳥観察者からも感謝の言葉をいただきました。

今年は、気温が上がらず多くの残雪のため歩道の整備作業が遅れ気味でしたが、今回のボランティア活動により整備が進みました。

同植物園は四月二十八日に開園しました。多くの残雪が残る今年には、ミズバショウやニリンソウが例年より遅くまで



長野林業土木協会東北信支部北信分会会員の皆さんと北信署員



恒例となったグリーンロープ張り

見られ、野鳥の活動も活発となり、多くの来園者を迎えます。

### 「大鹿森林事務所」が完成

【南信署】三月十三日、南アルプスと三百年以上伝承されている伝統芸能「大鹿歌舞伎」(昨年歌舞伎がモデルとなった映画が公開されました。)が有名な大鹿村に建築していた大鹿森林事務所が完成しました。

旧事務所が老朽化したことから建て替えるを行ったもので、完成した建物は一階に業務を行う事務所と居住部の居間、二階に居住部の和・洋一室ずつの延床面積八十四平方メートル二階建てで、材料にはスギ・ヒノキ・カラマツの国産材を使用しています。

小学校に隣接していることから、外壁の一部にカラマツ材を使用することにより、木のぬくもりや柔らかさを感じてもらえるよう配慮するとともに、周囲の景観にも溶け込むような建物となりました。



新築された事務室で執務する森林官



所在地：長野県木曾郡木曾町福島5473-1

### 「木曾福島森林事務所」が完成

【木曾署】三月二十三日、木曾郡木曾町に新築工事を進めてきた、木曾福島森林



所在地：長野県下伊那郡大鹿村大河原883

新事務所は、木曽福島宿舎に隣接しているため、居住部なしの事務所と車庫等の付帯施設による設計となりました。  
 新築された建物は、構造材に地域材のヒノキを主体的に使用するとともに、外壁の下見板張にサワラ、室内にはヒノキの腰壁を設けるなど、木曽谷の森林事務所として相応しい、木の暖かみを感じられる建物となりました。



内装にヒノキ材が使われた明るい事務室で執務する森林官と係員

「グリーンサポートスタッフ」  
 結団式を開催

〔東濃署〕五月十四日、署会議室において、「平成二十四年度グリーンサポートスタッフ結団式」を開催しました。この

取組は「地域連携推進等対策事業」として当署においても平成十八年度より実施してきています。

近年の登山ブームによる入込利用者の増加や登山道利用の集中化・大衆化等に伴い、登山者によるゴミ放棄や希少野生植物への影響等が懸念されています。このことから、日本百名山等に数えられ、当署管内で特に入込みの多い「恵那山」及び「小秀山」周辺の登山ルートにおいて、自然性の高い天然生林の保護管理を強化するため、グリーンサポートスタッフを雇用し、森林パトロールや入込み者へのマナー指導、歩道・看板の整備、普及啓発チラシの配布等を行ってまいります。

結団式当日は、市内の山岳会員ら六名に森林保護員証を交付し、今年度の活動について打合せを行いました。グリーンサポートスタッフの方々からは、「山ガールや高齢登山者に対し、登山マナーや遭難事故に遭わないよう指導をしていきたい」、「植生の保護管理や歩道・看板の整備を行いたい。」等の抱負が述べられました。今年も十月末まで二班に分かれてパトロール等行っていく予定です。

署としても、この取組を通じて、登山者等に対し、自然の大切さをPRする機会となるよう取り組んでいきたいと考えています。



活躍が期待されるスタッフの皆さん



森林保護員証を交付する枝澤東濃署長



〔北信署水内森林事務所〕

畠山弘一 森林官

当森林事務所は長野県最北端の栄村に所在し、栄村内の鳥甲・赤石澤・中山峰・豊栄国有林、山ノ内町の岩菅国有林の合計一七、一六七・七四畝を管轄しています。

管内は、日本有数の豪雪地帯であり、今までに七畝を超える積雪を記録しており、場所によっては七月ごろまで残雪が見られます。地形も急峻であるため、根曲がり木になりやすいです。特に今年の冬は平成十八年豪雪に近い状況で、平成二十三年三月の長野県北部地震もあつたことから、今年の一、二月はテレビや新聞等で連日取り上げられました。事務所も一晩で一辺近い降雪があり、除雪に一



事務所が雪に埋まるほどの豪雪地帯

番苦労した冬となりました。  
管内の多くは上信越国立公園に指定されておられ、名山も多く、日本百名山の苗場山は九合目まで登ると景色が一変し、国内でも有数の高層湿原植物群落が広がり、夏には多くの高山植物が登山者を迎えます。秋口の大小様々な池塘の上空を飛ぶトンボの姿は日本の田舎原景を見せられるようです。



夏の苗場山（高層湿原）

対岸の鳥甲山は岩肌が厳しく、苗場山とは対照的な様相を見せておられます。新潟県・群馬県に跨る佐武流山周辺森林生態系保護地域は、日本海側の森林植生への推移帯に当たる原生的な森林の生態系

や動植物等を保存・保護しています。佐武流山は山頂まで片道五時間程度の急坂の登山道ですが、山頂から見渡す越後の山々の眺めは、疲れを癒してくれます。岩菅山は隣の裏岩菅山よりは標高の低い山ですが、山頂から三六〇度見渡せるパノラマは志賀高原を一望でき、秋は最高の景色を見せてくれます。

管内には信濃川水系の一級河川の中津川があります。その上流部は群馬県中之条町の野反湖から注いでおり、支流には東京電力の渋沢ダムがあります。野反湖から栄村切明までは片道十キロ以上の丸一日掛かる自然歩道があり、大自然を満喫出来ます。周辺はブナやトチ、ミズナラ等を中心とした天然林が多く、秋の紅葉期には数多くの観光客が訪れています。

管内の人工林はスギ・カラマツが多く、毎年、搬出間伐や造林事業の監督業務を行っております。ネマガリタケやフキ等の山菜が豊富にあり、入山者が遭難するケースもあり、昨年は警察や消防団、遭難救助隊の方々と捜索活動に参加する場面もありました。幸い、一週間後無事に発見されました。

当森林事務所の森林官となって四年目ですが、平成二十三年三月十一日の東日本大震災翌日に、栄村を震源とする震度六強の長野県北部地震が発生し、役場で一週間避難生活を送りました。避難中はお互いに地震の体験談等を交えなが



地震による森林事務所被害のため、北信署内で執務する鳥山森林官



地震発生後の森林事務所宿舎の様子

ら地元の方と世間話をする機会もありました。栄村内の状況を自分の目で確認しながら、一日も早い復旧を祈り、今後も日々の業務に精進していきたいと考えています。



### 人のうごき

#### 中部森林管理局人事

四月十四日付

▽企画調整室情報管理係長（国有林野管理課付）  
谷本 直子

### 行事・会議等の予定

◎生産・販売低コスト化現地検討会  
6月7日～8日 中信・東濃署他

◎長野県植樹祭  
6月9日 長野県野沢温泉村

◎岐阜県みどりの祭り  
6月9日 岐阜県飛騨市

◎森林ふれあい講座  
6月9日 愛知所管内

◎名古屋シティ・フォレスト事業  
6月13日 岐阜署管内

6月30日 愛知所管内



国の名勝「寝覚の床」

「木曾署」木曾郡上松町にある木曾八景の一つ寝覚の床は、木曾川の水流によって花崗岩が浸食されてできた自然地形で、大正十二年に国の史跡名勝天然記念物(名勝)に指定されています。近辺の国有林は、寝覚の床と一体となって特色

旅の宿りの寝覚の床

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**寝覚の床風景林と**  
**木曾八景**  
 85  
 木曾森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

「浦島太郎伝説」昔、丹後の国浦島というところに太郎という少年がいました。ある日太郎が大きな亀を釣りあげたところ、供の者が亀にいたずらをしようとしたので、太郎はそれを止めて亀を海に返してあげました。太郎が家に帰ろうとすると、一人の美しい少女が近づいてきて「助けてくださいとお願いがとう」と礼をのべ、太郎を竜宮城へ案内しました。たいそうなもてなしを受け、月日の経つのも忘れて遊んでいた太郎はある日故郷を思い出し、竜王にいとまごいを申し出ました。竜王は、弁財天の尊像と、万宝神書を一卷、そして決して開けてはいけないという玉手箱を渡してくれました。太郎が故郷に帰ってみると、見知らぬ人ばかりで、「浦島太郎といえは、三百年ほど昔、沖に出てそれきり帰らぬ人」と近所の人に語られていたのです。淋しさに耐えかねた太郎は諸国に旅にでました。ある日太郎は、竜宮での生活が忘れられず「今一度」と貰ってきた玉手箱を開けてみる

のある優れた景観を構成していることから、風景林に指定されています。寝覚の床の中央には「浦島堂」があり、周囲は美術公園や歩道が整備されています。また川沿いを走るJR中央西線の特急「しなの」では、列車によって車掌が近くを通過する際にアナウンスすることがあります。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

寝覚の床は、中山道を訪れた歌人によって「七とせの あとおやおもうたれか又 ねさめの床の 雨のよすがら」



木曾の棧 (石積が当時を偲ばせる)



木曾八景「小野の瀑布」

と詠まれ、長野県歌「信濃の国」に「旅の宿りの寝覚の床」と歌われています。  
**◆アクセス**  
 「公共交通機関」  
 JR中央西線上松駅下車バス五分  
 「自家用車」  
 中央自動車道中津川IC〜国道十九号線経由約一時間、長野自動車道塩尻IC〜国道十九号線経由約一時間

木曾の秋月  
 小野の瀑布  
 寝覚の夜雨  
 風越の晴嵐  
 棧の朝霧  
 駒ヶ岳の夕照

御岳の暮雪  
 徳音寺の晩鐘

木曾八景

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。

と、立ち上る白煙とともに白髪のお翁となりました。「ああ、今までのことは夢だったのか」と目覚めたことから、この地を寝覚といい、床を敷いたような岩を見て、人々は寝覚の床と呼ぶようになりました。



木曾駒ヶ岳からの朝日